

1. 生産手段(土地や工場など)の社会的共有により、資本主義経済体制を変革し、社会的な不平等や階級対立のない社会を実現しようとする思想。 1
2. 人道主義的立場から人間の理性や善意に期待してその実現を「空想」した社会主義。マルクスらによる「悪口」に由来する呼び名。 2
3. **PERSON** イギリスの空想的社会主義者。英でのニューラナーク工場は成功したが、米での労働者が経営に参加するニューハーモニー村は失敗。 3
4. **PERSON** フランスの空想的社会主義者。資本家も労働者も含めた「産業者」の連帯を主張。 4
5. **PERSON** フランスの空想的社会主義者。ファランジュという協同組合による理想社会を構想。 5
6. 社会主義の実現はその歴史的役割を自覚した労働者階級(プロレタリアート)が階級闘争と暴力革命に勝利することによる、としたマルクスらが自らの理論を誇って呼んで名称。 6
7. **PERSON** ユダヤ系ドイツ人の経済学者・哲学者・革命家。唯物史観(歴史は階級闘争で進歩する)に基づいて社会主義社会への移行の必然性を主張。 7
8. **BOOK** 労働者に社会主義社会実現のための階級的団結をアピールし、「万国の労働者よ、団結せよ」と結んだマルクスとエンゲルスの共著。1848年の、労働者も大きな役割を担った仏二月革命の直前に刊行。 8
9. **PERSON** 19世紀、ドイツの思想家・革命家。マルクスの盟友。 9
10. マルクスの説く、歴史の原動力を生産力であるとする歴史観・歴史理論で、世界の根本的原理や実在を物質とみなす唯物論の立場。歴史の原動力を世界精神(絶対精神)であるとするヘーゲルの唯心論的見方を批判。 10
11. マルクスが、生産力の増大が生産関係の矛盾・対立を通して社会を変革するので、資本家(ブルジョワ)は労働者(プロレタリア)に打倒されると説いた考え方。客観的な弁証法による歴史の進歩を主張。 11
12. **WORD** マルクスが、どう考えるかよりもどう生きるかを重視して、大切なのは世界を認識したり解釈したりすることではなく、変革することであると説いた言葉。 12
13. **BOOK** マルクスが資本主義を批判的に解明した主著。マルクス死後、盟友のエンゲルスが2・3巻を完成させた。 13
14. マルクスが資本主義を分析し、労働者が賃金以上に働いて生まれた利益を資本家が利潤(もうけ)としていることを明らかにした学説。 14
15. マルクスが剰余価値説で指摘した問題。労働者が資本家に搾取されることによって、本来は喜びであり人間的な営みであった労働が苦役となり、自らが「労働力」という単なる商品にされているとして問題視したもの。 15
16. **PERSON** 19・20世紀、ロシアのマルクス主義者。(ロシア)共産党を創設し、1917年のロシア革命を成功させ、22年にソ連建国。『帝国主義論』などで、マルクス主義を発展させた。 16
17. **PERSON** 19・20世紀、中国のマルクス主義者。中国共産党の指導者になり、農民主体の共産主義革命を通して1949年に中華人民共和国を建国。 17
18. 19世紀末にヨーロッパで成立した、議会主義や社会改良を手段とする温和な社会主義。階級闘争や暴力革命のマルクス主義を否定。 18
19. **PERSON** 19世紀末、修正主義を唱えてドイツ社会民主党を温和化(マルクス主義を否定)した理論的指導者。 19
20. 20世紀初、イギリスの社会主義思想家のウェッブ夫妻や作家のバーナード・ショーらが協会員として主張した、漸進的で温和な社会主義。労働党の理念になった。 20

T. Q. 「共産主義と社会民主主義の違いとは？」

T. A.

マルクス(『資本論』の著者)とエンゲルスから始まる共産主義は、階級闘争によって起きる革命と独裁が、社会を平等にする社会主義社会実現のための手段であった。これに対して、社会民主主義はマルクス主義を修正し、合法的な議会制民主主義の立場を重んじながら社会主義社会を実現していこうとするものである。